



結核しずおか

27号2010年9月22日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 鈴木美行

印刷 明和印刷株式会社



巻頭言

浜松市は、平成17年7月1日の12市町村の合併により、東西約52km、南北約73km、面積1,558.04km²を有する全国市町村の中で2番目の広さを持つ市となりました。

その後、平成19年4月1日には、政令指定都市に移行し、人口は静岡県内において最大の約82万人となりました。また、平成23年には市制施行100周年を迎えます。

国の結核対策においては、結核予防法が廃止され、平成19年4月1日「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合し、各種事業を実施しているところです。

本市の平成17年から21年の5年間における結核新登録患者数は、166人、204人、151人、146人、169人と推移しており、ほぼ横ばいの状況です。

このような現状の中、本市の結核対策の一つとして、結核指定病院である国立病院機構天竜病院、聖隷三方原病院と静岡県西部保健所と共に、結核予防対策の充実と結核患者への適切な看護の提供を図ることを目的に、平成11年からチームケア検討会を立ち上げ、今年で12年目を迎えました。

チームケア検討会では、確実な個々の結核患者の治療終了を目指し、医療機関での患者指導や保健所の支援内容などの対応状況を共有し、「病院と保健所の結核に関する連携マニュアル」の作成やDOTSカンファレンスの導入など、徐々に成果をあげています。

さらに、医療機関、保健所がそれぞれの立場で、院内DOTSやクリティカルパスの整備、地域DOTSの充実などより良い患者支援を目指しております。

最近の結核患者の傾向としましては、感染者のますますの高齢化・若者の結核の増加・外国人患者割合の拡大・働き盛りの発見の遅れ等があります。今後これらに対して、きめ細かな保健サービスの提供や結核の正しい知識の普及に取り組んでまいりたいと考えております。



浜松市保健所
所長 西原信彦

全国・静岡県の結核の統計

(『結核の統計』より抜粋)

平成21年度末現在の本県の結核登録患者は、前年に比べて99人減少し、1441人になり、平成21年における新登録患者数は、前年と比較し9人減少し、613人になりました。

新登録患者の年齢構成は60歳以上の割合が70%を超え、免疫力が低下している高齢者の方は、定期健康診断や日ごろの健康チェックが大切になります。

1. 結核登録患者

(人)

区分 年次	年 末 現 在 登 録 者 数				年 内 新 登 録 患 者 数			
	全 国		本 県		全 国		本 県	
	患者数	10万人対 (登録率)	患者数	10万人対 (登録率)	患者数	10万人対 (罹患率)	患者数	10万人対 (罹患率)
昭和36年	1,615,099	1717.1	38,692	1391.1	419,424	445.9	12,235	439.9
50年	726,862	649.6	16,695	504.6	108,088	96.6	2,751	83.1
平成15年	77,211	60.5	1,854	48.9	31,638	24.8	852	22.5
16年	72,079	56.4	1,853	48.8	29,736	23.3	874	23.0
17年	68,508	53.6	1,725	45.5	28,319	22.2	735	19.4
18年	65,695	51.4	1,564	41.2	26,384	20.6	765	20.2
19年	63,556	49.7	1,561	41.1	25,311	19.8	662	17.4
20年	62,244	48.7	1,540	40.5	24,760	19.4	622	16.4
21年	59,573	46.7	1,441	38.0	24,170	19.0	613	16.2

2. 結核死亡者数

(人)

年次	全国	本県	死因順位・全国
昭和36年	27,916	652	7位
40年	22,366	560	7位
60年	4,692	126	16位
平成15年	2,337	61	25位
16年	2,330	57	25位
17年	2,296	67	25位
18年	2,269	75	26位
19年	2,194	67	27位
20年	2,220	64	25位
21年	2,155	78	24位

*平成21年は概数

(人口動態統計による)

平成21年における罹患率
(治療が必要な者：10万人対) による各県の状況

- 罹患率の低い県：群馬県10.2 山梨県11.0
長野県11.3 岩手県11.3
秋田県11.4
- 罹患率の高い都府県：大阪府31.5 東京都25.0
愛知県22.4 和歌山県22.3
長崎県22.1

★静岡県16.2 順位は低い方から19番目

3. 新登録患者年齢構成(静岡県)

(%)

区分 年次	年 齢 別 構 成 率						
	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～
昭和36年	20.0	15.9	18.3	13.2	13.4	12.6	6.6
60年	2.9	5.8	6.4	10.3	17.4	22.3	34.9
平成15年	0.7	6.7	6.9	4.3	8.6	13.9	58.9
16年	1.4	7.3	6.9	3.7	8.0	13.3	59.4
17年	1.2	6.3	6.1	4.8	9.8	13.2	58.6
18年	1.0	7.2	5.8	5.6	8.5	13.1	58.8
19年	1.5	8.3	5.6	4.2	6.8	10.9	62.7
20年	1.6	7.4	7.7	5.0	7.1	12.4	58.8
21年	1.0	6.2	5.5	4.3	7.0	13.4	62.6



健康づくりに願いをこめて

静岡市住民検診

当支部は、静岡県民の健康づくりのために、15台の検診車を稼働させ、年間を通して、結核検診・肺がん検診・胃がん検診・乳がん検診・総合健診等を実施しております。

その中で、今回は、静岡市住民検診をご紹介します。

結核検診・肺がん検診を市民の健康増進を目的に行っており、5月中旬から12月初旬にかけて、葵区・駿河区約280ヶ所を巡回しております。静岡市は、南北に長く、南部と北部では、その地理的特徴が異なります。そのため、静岡市住民検診に使用する検診車は、どのような場所にも対応できるよう、比較的小型の検診車となっております。



写真は、静岡市大川地区の大間地域と崩野地域での検診の様子です。市内から車で約20キロから30キロほどの山間部に位置しています。現在、大間地域、崩野地域いずれも世帯数は10世帯となっており、過疎化や高齢化が進んでいます。

到着した検診会場では、眼下に広がる山並の連なりや雲海、あたり一面にひろがる茶畑などの見事な景観を見ることが出来ます。そこでの検診時間は30分ほどで、滞在時間は短くはありますが、住民の方々とは、様々な言葉を交わしコミュニケーションをとります。皆さまが温かく迎えてくださり、「ありがとう」や「また、来年も来てね」などお声をかけてくださいます。受診者の方々の笑顔や何気ない感謝の言葉にやりがいを感じております。

年に一回のこのような検診が、日々の健康管理のお役に立てていればと願っております。

これからも、静岡市内、様々な地域を巡回し、皆さまの健康づくりの一端を担っているという自覚をもち、笑顔を忘れず、一生懸命頑張りたいと思います。また、さらなる検診体制の充実を模索していけるよう努めてまいります。

業務課 勝 俣 精 二

今後ともよろしく
お願いいたします!





複十字シール運動に ご協力をお願いします

運動期間 8月1日～12月31日

静岡県募金目標額 **1500万円**



結核などの胸の病気を制圧するため、複十字シールを通じて積極的に募金活動を行っています。
皆様の温かい善意の募金は、結核予防思想の啓発活動、胸部検診機器の整備、さらには発展途上国の結核対策援助等の緒事業に充当しています。
今年も複十字シール募金へのご協力をお願いいたします。

●ご送金方法について

〈口座振込〉

①郵便振替

名古屋 00880-4-34116

②銀行振込

静岡銀行 瀬名支店 普通 381964

スルガ銀行 静岡上土支店 普通 1450908

●寄付金控除について

公益財団法人結核予防会は【特定公益増進法人】として認定を受けましたので、ご寄付をくださった場合、税法上の優遇措置があります。

①法人の場合

法人税法の優遇措置があります。

②個人の場合

今年中に指定法人にご寄付された金額が、本件を含めて二万円を超える場合、その超えた金額が今年の所得から控除されます。ただし、年間所得の40%までの額とされます。



お問い合わせは

財団法人結核予防会静岡県支部

電話：054-261-2512(代)

E-mail tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

U R L <http://www.jatahq.org> (公益財団法人結核予防会)



結核予防週間によせて

平成22年9月24日(金)～30日(木)

わが国の結核の現状は、平成21年中に新たに結核患者として登録された人は24,170人で、2,155人が亡くなっており、世界の中では依然として結核の中まん延国として位置付けられていることから、引き続き十分な注意が必要です。

今年の結核予防週間は、『そのせき、結核ではありませんか?』をスローガンに実施します。この一週間を、「結核の制圧」に向けて、国民一人一人に理解と協力が得られるように知識を深め、結核対策の推進に一丸となって取り組むことが必要であります。

●当支部では、静岡県、静岡市、静岡県結核予防婦人会と協力して実施します。

実施日：平成22年9月25日(土) 13:00～

場所：アピタ静岡店(静岡市駿河区石田)

●県・各市町の健康まつりなどに、当支部職員が参加(普及啓発活動・追加住民検診)し、また各種パネルやシールぼうやの着ぐるみを貸し出しています。

→お問い合わせは、総務課 鈴木まで

平成22年度静岡県結核予防婦人会理事会及び総会の開催報告



『平成22年度静岡県結核予防婦人会理事会（支部長・事務局担当職員合同会議）及び総会』開催しましたのでご報告いたします。

理事会	
日時	平成22年6月30日（水） 午前10時30分～
会場	静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室
議題	第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算（案）について 第2号議案 平成22年度事業計画及び収支予算（案）について 第3号議案 役員の改選について 第1号・第2号・第3号議案について審議し原案のとおり承認されました。
支部長・事務局担当職員合同会議	
(1) 最近の結核の発生状況等について（静岡県疾病対策課）	
(2) 平成22年度複十字シール募金運動について	
(3) 第14回結核予防関係婦人団体中央講習会出席者の概要報告	

総会	
日時	同日 午後1時～
会場	同会場
議事	第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算（案）について 第2号議案 平成22年度事業計画及び収支予算（案）について 第1号・第2号議案について審議し原案のとおり承認されました。
終了後	
講演 『音楽療法ってなあに？』	
講師 特定非営利活動法人ウォーター・ビジョン所属 山田美由紀 先生	

役員の改選について

会長、副会長および監事の任期満了のため、静岡県結核予防婦人会 会則第12条に基づき、次の方が選任されました。

会長	土屋 貞代	再任
副会長	大嶽 生江	再任（沼津支部）
副会長	鈴木 節子	再任（静岡市支部）
監事	吉田 みさ子	再任（浜松市支部）
監事	佐野 ますゑ	新任（富士宮支部）

よろしくお願いたします



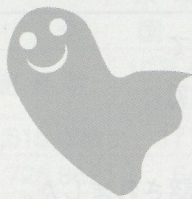


なぜ・なぜ・ななに

女性に多い乳がんのマンモグラフィ検診を受診された方は、経験されたことがあると思います。撮影前に、「胸や脇に、化粧水・ボディクリーム・香水・制汗剤スプレー・パウダーなどつけてませんか？」と確認し、つけていらっしゃる方には、拭き取っていただくようお願いしております。これは、つけている化粧水などの成分が、あたかも石灰化のように写真に写る場合があるからです。石灰化には、良性のものとそうでないものがありますが、その判別が困難になってしまいます。マンモグラフィ写真の撮影時には、胸や脇には、何もつけていらっしゃらないようお願いいたします。

さて、昨年より、厚生労働省より、女性の方対象に検診の無料クーポンが発行されるようになりました。対象年齢の方は、乳がん検診と子宮がん検診を無料で受診することができます。乳がん検診の対象は、40歳から、5歳きざみで、60歳までの方です。どうぞ、この機会に、検診を受ける習慣をつけていただけたら幸いです。また、対象でない方も、普段からの健康管理を大切に、私たちの実施する乳がん検診をどうぞご利用ください。

検診課 鈴木貞子



書籍のご案内



結核を中心とする疾病の予防に関する正しい知識を広く県民の方に普及するために、公益財団法人結核予防会が編集・出版している専門書やパンフレットなどの案内をしております。

新刊

「保健師・看護師の結核展望95号」

◆ 特集 結核医療における地域連携の強化

①多職種からなる地域連携の輪 ②看護ケア・連携の課題

定価1,995円(税込み)



新刊

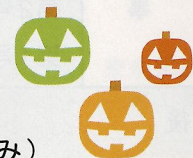
「結核の統計2010」 定価3,150円(税込み)

改訂版完成

医師・看護職のための結核病学シリーズ

「増刊コッホ現象／多剤耐性結核症平成22年改訂版」

定価1,260円(税込み)



好評販売中

「DOTSってななに～人が人を治す～」 定価241円(税込み)

「結核でも心配しないで」 定価241円(税込み)

お問い合わせ・・・



◆ 書籍の注文および出版案内をご希望の方は
(財)結核予防会静岡県支部までお問合せ下さい。
TEL:054-261-2512 FAX:054-261-9474

◆ HPでは最新情報を掲載しております。どうぞご利用ください。
HP:<http://www.jatahq.org>

平田唯夫先生

当会にて長年、評議員を務めていただきました平田唯夫先生が去る5月27日にご逝去されました。

ここに先生のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：村木弘知（元県職員）